

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	戸田市立笹目東保育園	種別：	保育園
代表者氏名：	油屋希久子	定員(利用人数)：	100 名
所在地：	〒 335-0034 埼玉県戸田市笹目1-37-14	TEL	048-421-5011

③評価実施期間

令和元年 12月 24日(契約日)～令和2年 3月 31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

◎自然に恵まれた環境を活かした保育をしています

保育園は住宅街にありますが、足を延ばすと自然の宝庫があります。子どもの周りには、四季があり、散歩と園庭の散策が子どもの自然観察の芽を身近に育ませています。具体的には、園庭の大きな樺が2本そびえ、夏は木の葉が茂り涼しさを教えてくれます。秋には、畑や木からの実のりを体験し、その収穫の喜びを知ることができます。近隣の散歩は、自然の移り変わりの景色をいつも体験できます。近隣には、園庭、畑、子どもたちの好きな虫が地中におり、這い上がり、昆虫や植物などの観察力が培われています。さらに、園庭にある土山は、子どもの探究心と身体を豊かに育んでいます。

◎年間を通して季節に応じた豊かな食育の展開は、食に関する子どもの意識を育んでいます

保育園の食事づくりは、委託業者が実施していますが、職員との連携において子どもの成長に見合った食に関する知識を育んでいます。戸田市が作成している公立保育園の献立表と各保育園の「給食年間行事計画」は、季節の食材や日本文化の食などを活用した内容で紹介しています。当園では、この季節行事に加えて畑からの収穫物での「芋汁」や「カレーライス」作りなどを子どもたちが体験する機会を設けています。また、年末には全クラスの子どもの見合う方法で餅つきを行っています。子ども達は料理内容を知り、一人ひとりの子どもが完食する喜びを体験できるように、子どもの入園時の食生活から段階を追って自分の食べられる量を確認できるようにしています。

◎保護者への子育てに関する支援に積極的に取り組んでいます

職員は、保護者の一人ひとりと接する機会を設けられるよう配慮しています。ただし、勤務シフトなどにより難しい状況もあります。そのため、当園では子どもの日常生活の様子と一人ひとりの成長を、どのように支援しているかを写真や掲示物等で情報発信しています。具体的には、各年齢に応じた連絡ノートを活用して、子どもの生活やどの成長段階にいるかを個別に伝えています。クラスでの活動は、子どもたちの可愛い姿や成長の変化などを廊下に写真付きで掲示して、保護者にお知らせしています。さらに、誰もが見れる絵本コーナーの場所に「保育ボード」として、各クラスの子どもの成長を掲示しています。園だよりや行事ごとの配布物などには、保護者の子育てに役立つ情報を丁寧に記載しています。保護者と直接触れ合うこと基本としていますが、それを補うために工夫しています。

◇特にコメントを要する点

◎子どもたちの安心・安全への取り組みをさらに進め、保護者と情報共有することが期待されます
 当園では、モニター付きインターフォンでの門扉の施錠、周辺道路に監視も視野に入れた防犯カメラの設置、18時以降の出入りを正門のみに限定にするなど、様々な対応に取り組んでいます。また、子どもたちの安心・安全に向けて、防災防犯委員会を設置し、ヒヤリハットについて職員会議で周知・共有し、保育内容につなげています。さらに、保育園内で安全などに関して気づいたことを更に収集・把握して、どこがどう危ないかを明確にして、どのような配慮が必要かを気づきやすくするなどの対応を検討しています。ただ、園のセキュリティーの強化については保護者会アンケートや今回の第三者評価の保護者アンケート調査等において継続的に要望が寄せられています。保護者にも安全への配慮の意識を広げ、更に子どもたちの安心・安全を向上させることが期待されます。

◎保護者との信頼関係を活かし、保育園の目標や子どもの様子をさらに丁寧に伝えることが望まれます

当園は保護者に情報を発信するために様々な取り組みをしています。一例として、クラス毎に写真付きの「保育ボード」、園内には旬な食べ物や各家庭のレシピを紹介する「もぐもぐボード」、職員や保護者のオススメ本を紹介する「ぜひよんでねボード」等、保護者向けに写真付きでわかりやすく情報を発信しています。また、懇談会の資料や毎月発行の園だよりには保育の目標やねらいについて記載し、イラストを使いながら見やすいように工夫しています。しかし、今回の第三者評価の保護者アンケート調査の結果において、「入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか」という問いに対して「はい」の回答が72.9%、「登園時やお迎える際にお子様の様子についての確認、説明がありますか」という問いに対して「はい」の回答が66.1%と他の項目よりも低い結果となっています。子ども一人ひとりの様子をさらに丁寧に保護者に伝える、具体的なエピソードとともにそれぞれの場面で職員がどう関わったかなどを知ってもらう等、保育園の目標や取り組みを保護者と共有できるさらなる取り組みが望まれます。

◎更なるサービスの質の向上のため、職員や保護者の声を反映させていくことが期待されます
 当園では、より良い保育ができるように保育園としての自己評価を実施しています。自己評価の結果は保護者にも共有できるように、「良い点」と「課題点」に分けて記載して掲示しています。また、保護者会では保護者会アンケートを実施しています。保護者会アンケートの結果は、職員会議で周知して改善策を検討しています。また、保護者会アンケートの質問に対して保育園からの回答を記載して掲示をしています。自己評価の結果や保護者会の声には職員全員で対応に取り組んでいます。対応には時間を要する内容のものもあります。過去2、3年分の自己評価や保護者会アンケートを振り返る機会や体制を整備されては如何でしょうか。過去2、3年分の自己評価や保護者会アンケートを振り返ることで、自己評価や保護者会アンケートへの対応が徹底されているかを確認し、サービスの質の向上に繋げることが期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価を受審し、保育園の運営業況や保育活動について、専門的視点から客観的に評価していただきました。これにより、職員全体で自分達の保育を見直し、改めて子どもにとっての最善の利益やその運営の方向性についても考えることができました。また、自分達の保育を振り返ることで、職員それぞれの考えや気づきを話し合い、共通認識を深める良い機会となりました。また、保護者からのアンケートからは保育やその環境を見直す意見もいただきつつ、たくさんの温かいコメントをいただいたことも、大変うれしく感じたところでもあります。

評価者の方からの「これはゴールではなく、スタートです。これまでの良い取り組みを続けていける仕組みづくりをしていってください。」というコメントをしっかりと受け止め、今回の評価から出てきた課題についても分析をし、改善していけるよう保育園全体で取り組んでいきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり